

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/母性看護学】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
母性看護学概論	NSP21_003	必修	1	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
飯嶋 玲奈	405	reina.ijima	水曜日 9:00~13:00		
授業の目的・概要	性の尊厳と使命および人の性と生殖の意義を理解し、ウィメンズ・ヘルスという視点から各発達段階における身体的・心理的・社会的特性について学ぶ。ライフサイクルに応じた女性の健康を保つ意義と課題、母性をとりまく環境や地域システム等を理解し、母性看護の機能と役割について学ぶ。母性の概念と母性看護の意義、人間の性と生殖（人間の成長過程とセクシュアリティ・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ、ヘルスプロモーション）、母性の発達過程に影響を及ぼす因子、各ライフサイクルにおける母性の役割機能を遂行するための看護の理論を学ぶ。また、我が国独自の母性看護に関連する地域性および文化等の歴史の変遷、母子保健の動向、政策、制度、法律等を学ぶ。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	現代女性の特性や生き方、さらに男性や家族・地域社会の特徴やあり方など社会の動向にも注目し視野を広げ、自身の母性観、父性観についても考える機会としてほしい。				
教科書	・系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学① 第15版/著:森 恵美 他 /医学書院 /2026 ・系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学② 第15版/著:森 恵美 他 /医学書院 /2026				
参考書	・国民衛生の動向 2025/2026 /厚生労働統計協会 ・母子保健の主なる統計 令和7年刊行 /母子衛生研究会/2025				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	母性看護の基盤となる概念について理解し説明できる。		HSU(1)(2),NS(1)(2)		
②	母性看護に関する社会的動向について理解し母性看護のあり方について説明できる		HSU(1)(2),NS(1)(4)(5)		
③	母性看護に関連する法律・施策について理解し説明できる。		HSU(1)(2),NS(2)(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	母性の概念、母性看護のあり方 母子関係と家族発達	講義	【復習】既習内容、教科書を読む 【予習】次回分の教科書を読む	4	
2	セクシュアリティ リプロダクティブヘルス/ライツとヘルスプロモーション	講義	【復習】既習内容、教科書を読む 【予習】次回分の教科書を読む	4	
3	リプロダクティブヘルスケア 不妊治療 出生前診断	講義	【復習】既習内容、教科書を読む 【予習】次回分の教科書を読む	4	
4	児童虐待 国際化社会と看護	講義	【復習】既習内容、教科書を読む 【予習】次回分の教科書を読む	4	
5	倫理、安全、事故防止	講義	【復習】既習内容、教科書を読む 倫理的課題について個人ワーク	3	
6	母性看護分野における倫理的問題についてグループディスカッション	演習	【復習】レポート作成 【予習】次回分の教科書を読む	3	
7	わが国における母性看護の変遷と現状、および母子保健統計と社会的動向	講義	【復習】既習内容、教科書を読む 【予習】次回分の教科書を読む	4	
8	母性看護に関する法律や施策、対象を取り巻く環境	講義	【復習】既習内容、教科書を読む 定期試験勉強	4	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/母性看護学】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
総合力指標	知識・技術力	90	10	0	0	0	100
	思考・推論・創造する力	70	0	0	0	0	70
	協働性・リーダーシップ	20	7	0	0	0	30
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	3	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点					
試験	①	✓	本試験90点で実施する。				本試験実施後、答案返却と同時に模範解答の提示および解説の機会を設ける。
	②	✓					
	③	✓					
レポート	①	✓	第6回演習後に課すレポート点10点				レポートに対するコメント後返却する。
	②	✓					
	③						
成果発表	①						
	②						
	③						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
その他	①						
	②						
	③						
備 考							
他担当教員	なし						
教員の実務経験	総合周産期母子医療センターにおいて助産師として、5年の臨床経験を有し、かつ母性看護学および助産学の8年の教育経験を有する者が教授する。						
実践的授業の内容	実務経験を活かし、実際の倫理的な場面を取り上げながら演習を展開する。						
その他	講義資料は事前にTeams内に格納します。またレポートの提出や授業のフィードバックなどにおいてもTeamsやFormsを広く活用します。デバイスの準備(持参、充電)やログインなど自身の準備体制をきちんと整えうえて授業に出席するようにしてください。						